National
松下電工

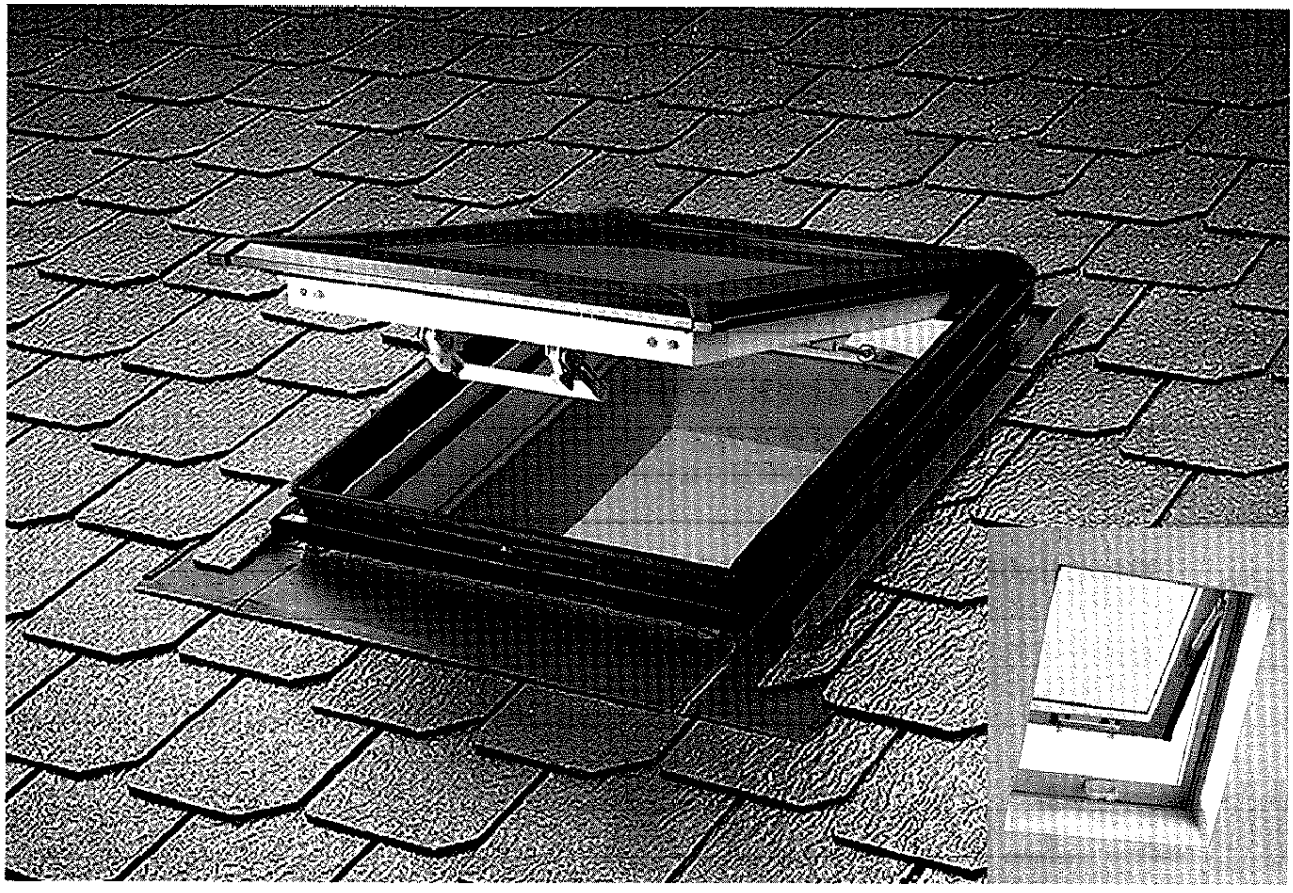
工事店用

採光窓 断熱てんまどⅡ型

手 動 開 閉 タ イ プ

施 工 説 明 書

施工前にこの説明書をお読みいただき、手順にしたがって正しく施工してください。



●この商品には「保証書」「取扱説明書」を添付しています。
●「保証書」には販売店名または工事店名、お引渡し日を記入の上、
必ず施主様にお渡しください。

目 次

■安全に関するご注意 ……2
■施工上のご注意……2
■各部のなまえと梱包明細……3
■施工のしかた……4
■開閉動作確認……8
■故障かな！？……11
■ガラスの交換のしかた……12

安全に関するご注意

⚠警告

禁止

■強風、雨、雪等の悪天候時の施工はしない。
けがをしたり、事故の原因になります。

必ず守る

■施工の際は十分に安全な足場を設ける。
守らないとけがをしたり、事故の原因となります。
安全のため、命綱や墜落防止ネットをご使用ください。

■運搬作業は2人またはクレーン車で行う。
守らないと、商品が重量物(約18kg～55kg)のため、けがをしたり、事故の原因になります。

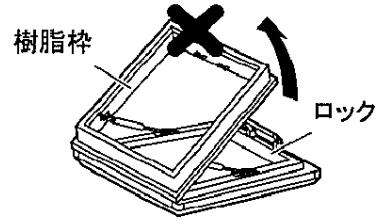
⚠注意

禁止

■施工時に窓から顔や手を出さない。
けがをするおそれがあります。

■商品の上に乗らない。
ガラスが割れ、けがをするおそれがあります。

■樹脂枠を上にしてロックを外さない。
樹脂枠が急に上がり、けがの原因になります。



必ず守る

■ねじ止め箇所は全てを確実にねじ止めする。
守らないと強風等により、商品が落下するおそれがあります。

■指定された施工方法を必ず守る。
守らないと雨漏りの原因になります。

施工上のご注意

1.方向ラベルを水下側に施工してください。

2.指定方向以外の施工はしないでください。
守らないと雨漏りの原因になります。

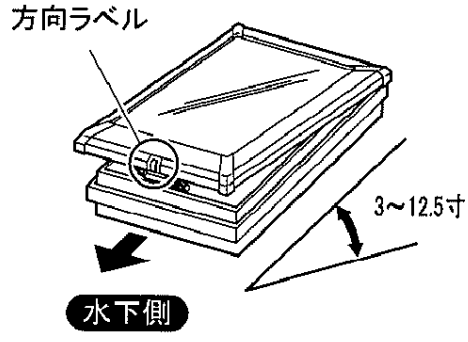
3.屋根勾配 3～12.5寸(17～51度)に施工してください。
守らないと雨漏りや結露水の室内滴下の原因になります。
※点検口タイプは屋根勾配3～5寸(17～27度)に施工してください。
点検時の出入りが危険です。

4.採光窓を出入口用途に使用しないでください。
商品が破損するおそれがあります。

5.点検口タイプは、ジャンプ台付の水切りは施工できません。
窓部が水切りに当たり、ステーを引っかけることができません。

6.排煙窓としてのご使用はできません。

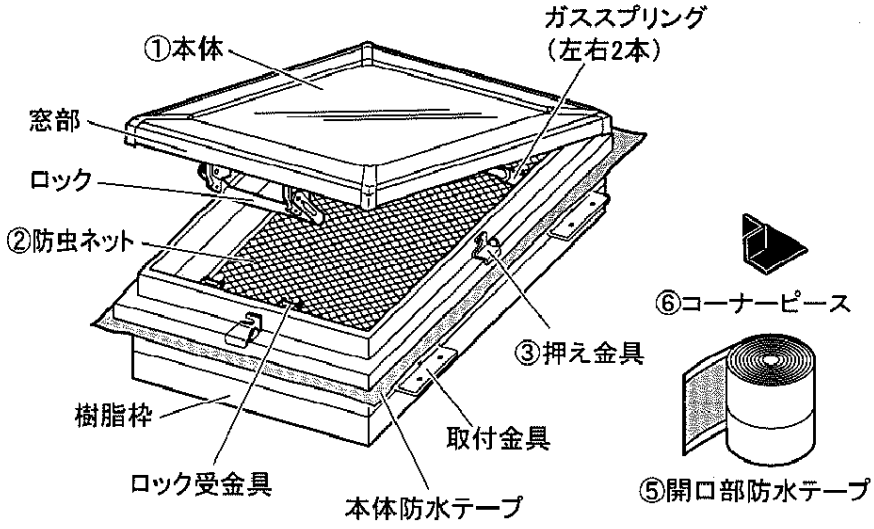
7.浴室には設置しないでください。
結露水が滴下したり、錆・故障の原因となります。



各部のなまえと梱包明細

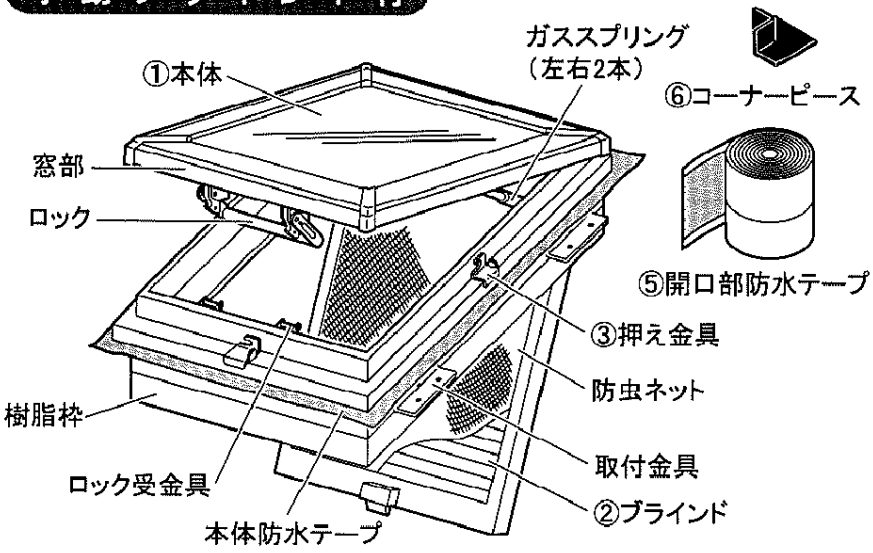
※ご注文の商品、品番であるかお確かめください。なお、念のため部品の不足、破損、変形などもお調べください。

手動タイプ



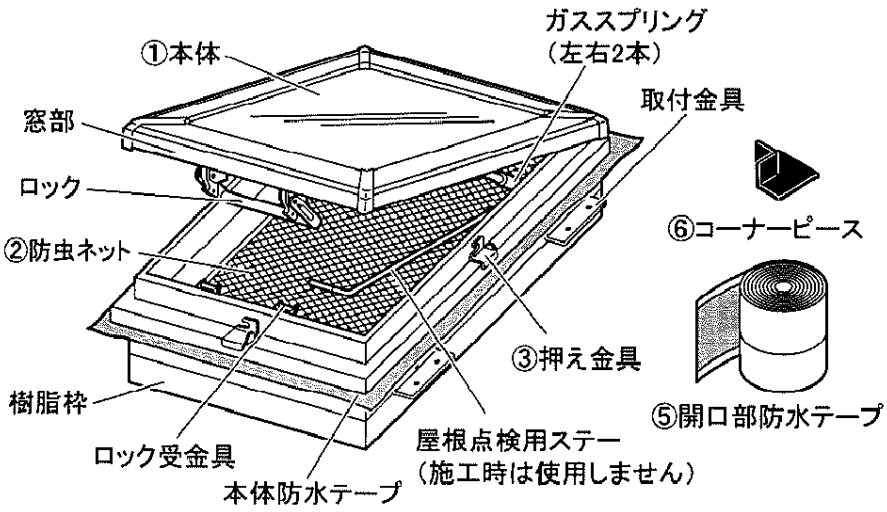
部品名称＼タイプ	手動タイプ
①本体	1
②防虫ネット	1
③押え金具	1式
④本体固定ねじ(皿木ねじφ3.8×25)	1式
⑤開口部防水テープ(樹脂枠-開口部間用)	1巻
⑥コーナーピース(ゴム)	4
取扱説明書	1
保証書	1
お客様ご相談センター一覧	1
施工説明書	1

手動ブラインド付



部品名称＼タイプ	手動ブラインド付
①本体	1
②ブラインド	1(防虫ネット付)
③押え金具	1式
④本体固定ねじ(皿木ねじφ3.8×25)	1式
⑤開口部防水テープ(樹脂枠-開口部間用)	1巻
⑥コーナーピース(ゴム)	4
取扱説明書	1
保証書	1
お客様ご相談センター一覧	1
施工説明書	1

点検口タイプ(ステー付)



部品名称＼タイプ	点検口タイプ(ステー付)
①本体	1
②防虫ネット	1
③押え金具	1式
④本体固定ねじ(皿木ねじφ3.8×25)	1式
⑤開口部防水テープ(樹脂枠-開口部間用)	1巻
⑥コーナーピース(ゴム)	4
取扱説明書	1
保証書	1
お客様ご相談センター一覧	1
施工説明書	1
点検口取扱手順書	1

施工のしかた

工事区分

建　築
1.開口部の製作(P.4)
2.本体の固定(P.4)

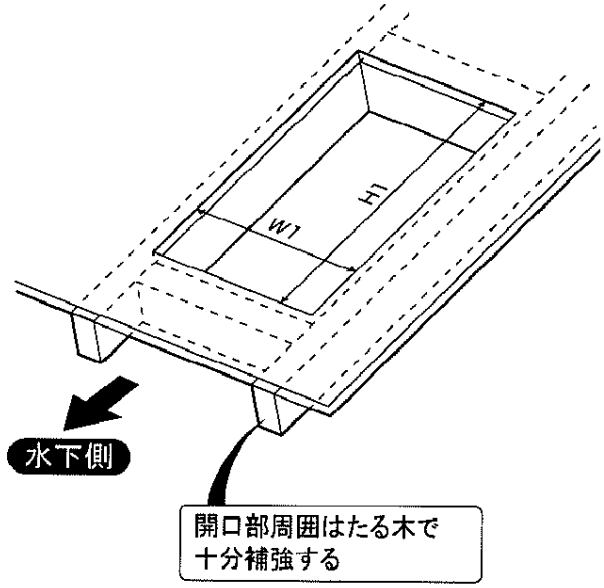
→

屋根工事
3.ルーフィングおよび開口部防水テープの施工(P.5)
4.水切りの施工(P.6)(水切りセット施工説明書をご参照ください)
5.本体防水テープの貼付(P.6)
6.水切り押え枠の固定(P.6)

→

開閉動作確認

1 開口部の製作

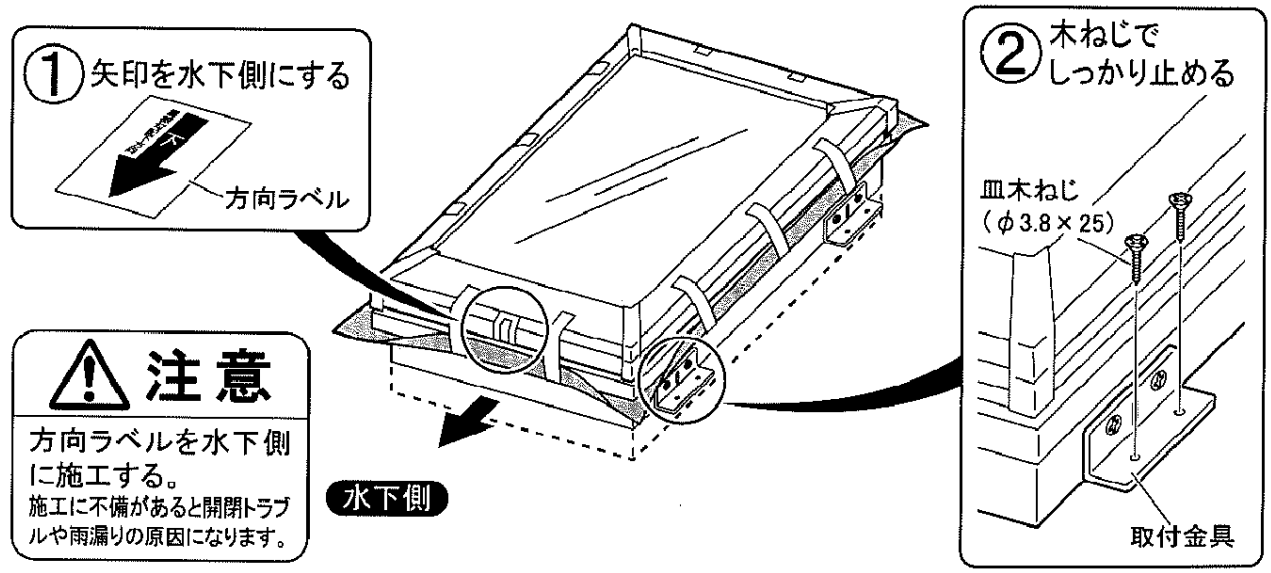


呼称尺	本体品番	開口部寸法 (W1×H1)
2×2	MWA2020PHT	555×555
2×2.5	MWA2025□○	555×705
2×3	MWA2030□○	555×855
3×2	MWA3020□○	855×555
2.5×3	MWA2530□○	705×855
3×3	MWA3030□○	855×855
2×4.5	MWA2045□○	555×1305
4.5×2	MWA4520□○	1305×555
3.5×3.5	MWA3535□○	1005×1005
4.5×3	MWA4530□○	1305×855

□:ガラス仕様(J・K・G共通)
○:機能(H・H3・HT共通)

2 本体の固定

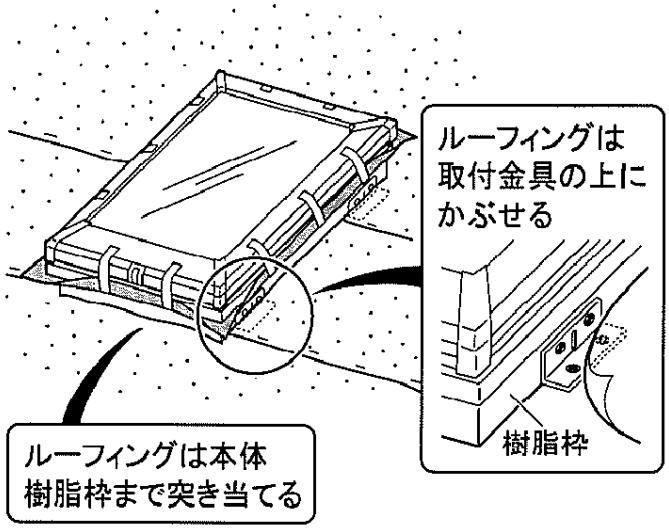
全ての取付金具のねじ止め箇所を確実に固定する。



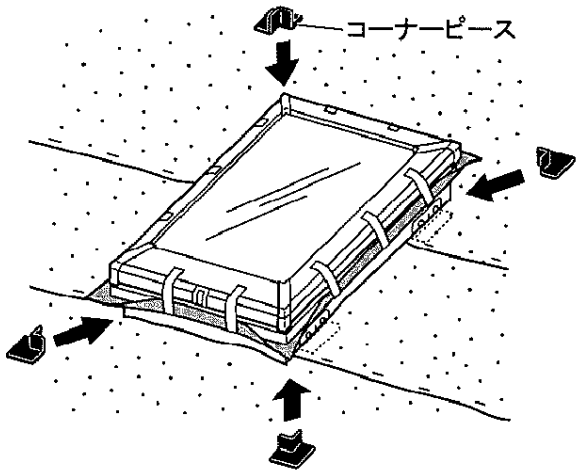
⚠注意
方向ラベルを水下側に施工する。
施工に不備があると開閉トラブルや雨漏りの原因になります。

3 ルーフィングの施工と開口部防水テープの施工

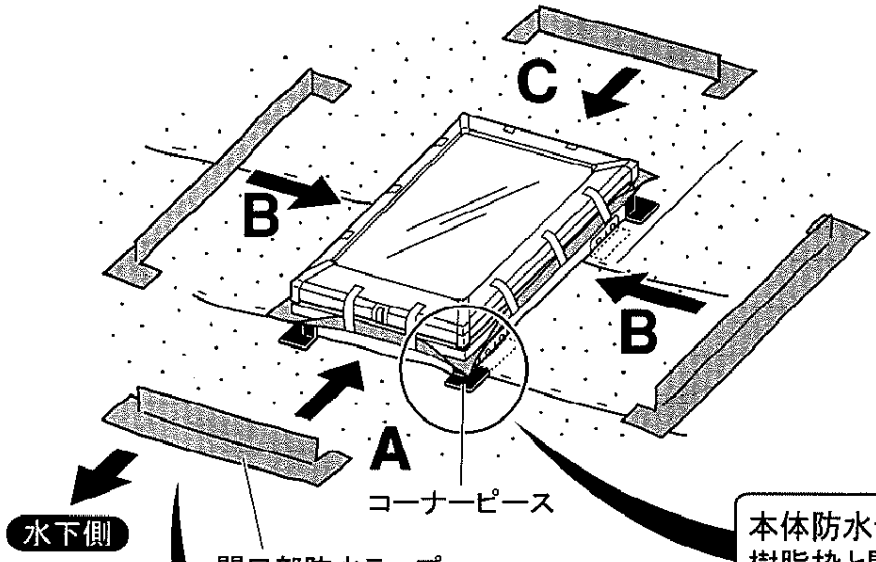
① ルーフィングを施工する。



② コーナーピースを4コーナーに
離型紙をはがして貼り付ける。



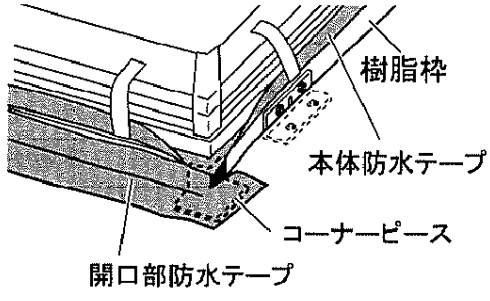
③ 本体樹脂枠と開口部間に防水(ブチル)テープをA➧B➧Cの番号順に貼り付ける。
(長さは現場でカットしてください)



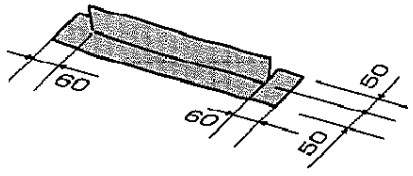
⚠注意

開口部防水テープは、
順番通りにスキマなく
施工する。
施工に不備があると雨漏りの
原因となることがあります。

本体防水テープをめくり上げた状態で
樹脂枠と開口部間に貼る



図のように カットし、
水下側より隙間が
あかないよう離型
紙をはがして確実
に貼ってください。



施工のしかた

4 水切りの施工

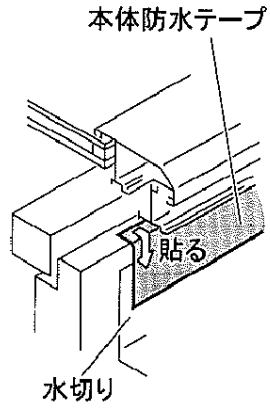
水切りの施工は、水切りセットの施工説明書をご参照ください。

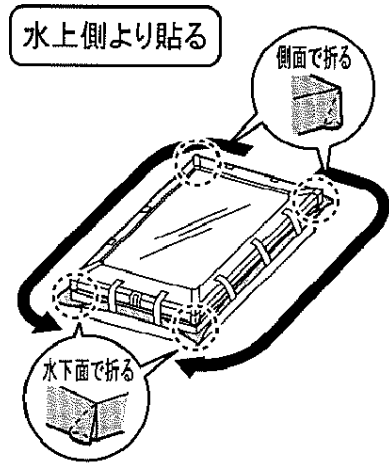
5 本体防水テープの貼付

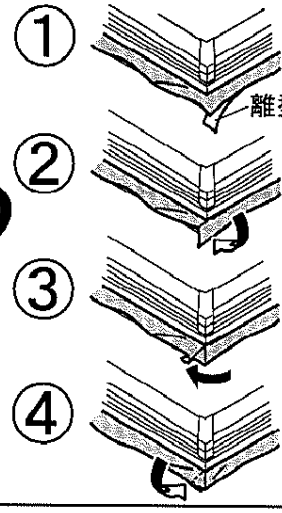
本体防水テープの離型紙をはがして、水切りに貼り付ける。

貼付時のお願い

- 本体防水テープを貼り付ける前に、水切りについたほこりや汚れ、水分等を確実に取り除く。
- 本体防水テープは離型紙をはがしたらすぐに水切りに貼り付ける。
- シワになったり、隙間があいたりしないよう、確実に貼り付け、十分に押え付ける。



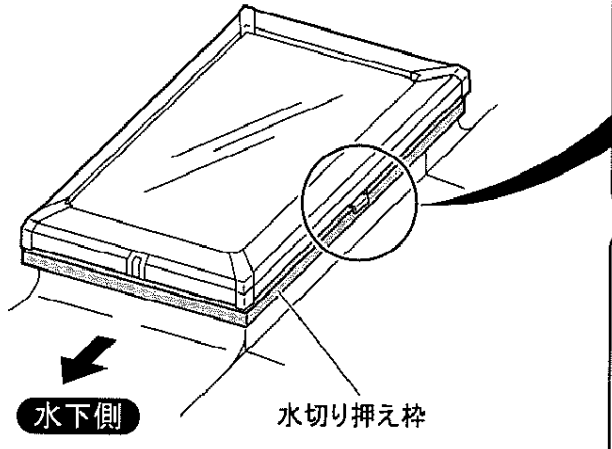


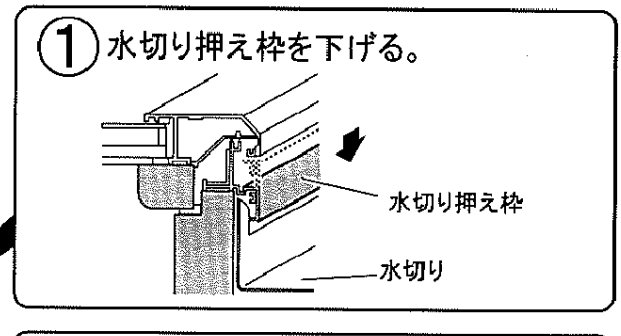


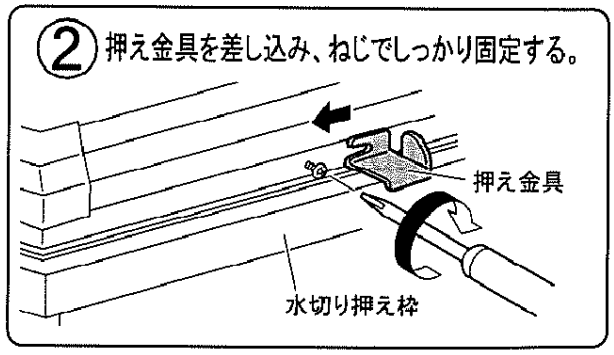
ご注意

防水テープは低温下では接着力が低下しますので、特に強く押さえ付ける。

6 水切り押え枠の固定

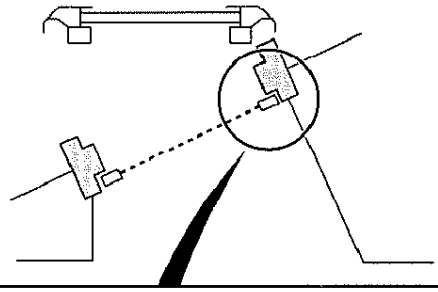


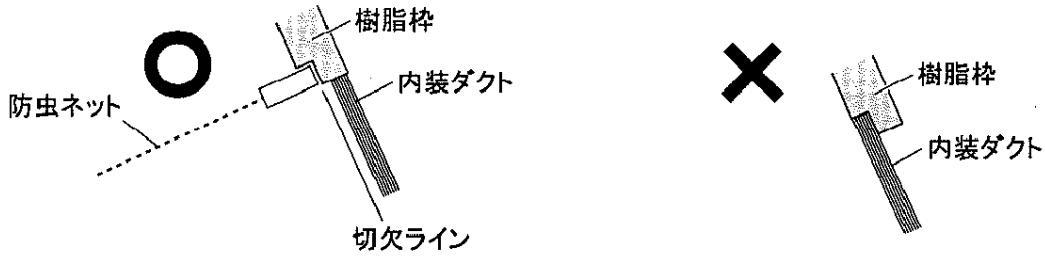




内装ダクト工事上のご注意

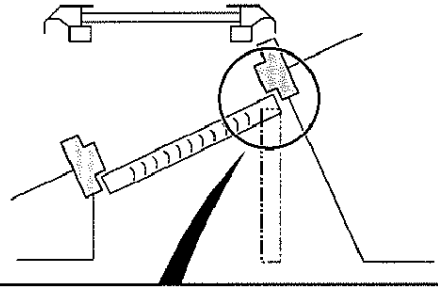
手動タイプ　**点検口タイプ**

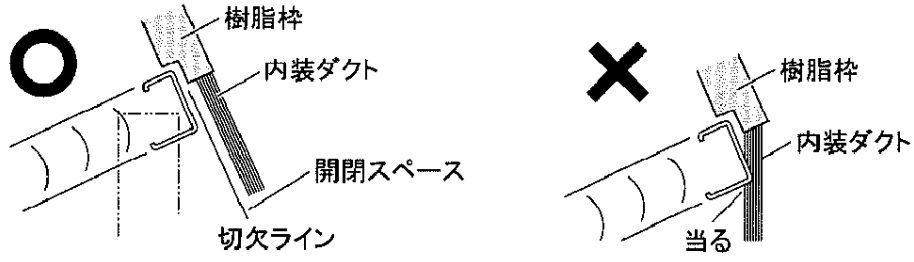




必ず守る　樹脂枠段差部は、網戸取付スペースです。4周とも樹脂枠切欠きラインより外側へ内装ダクト工事を行ってください。

手動ブラインド付





必ず守る　開閉スペースを設けるため、4周とも樹脂枠切欠きラインより外側へ内装ダクト工事を行ってください。

必ず守る　水上側ダクトを垂直におろさないでください。

開閉動作確認

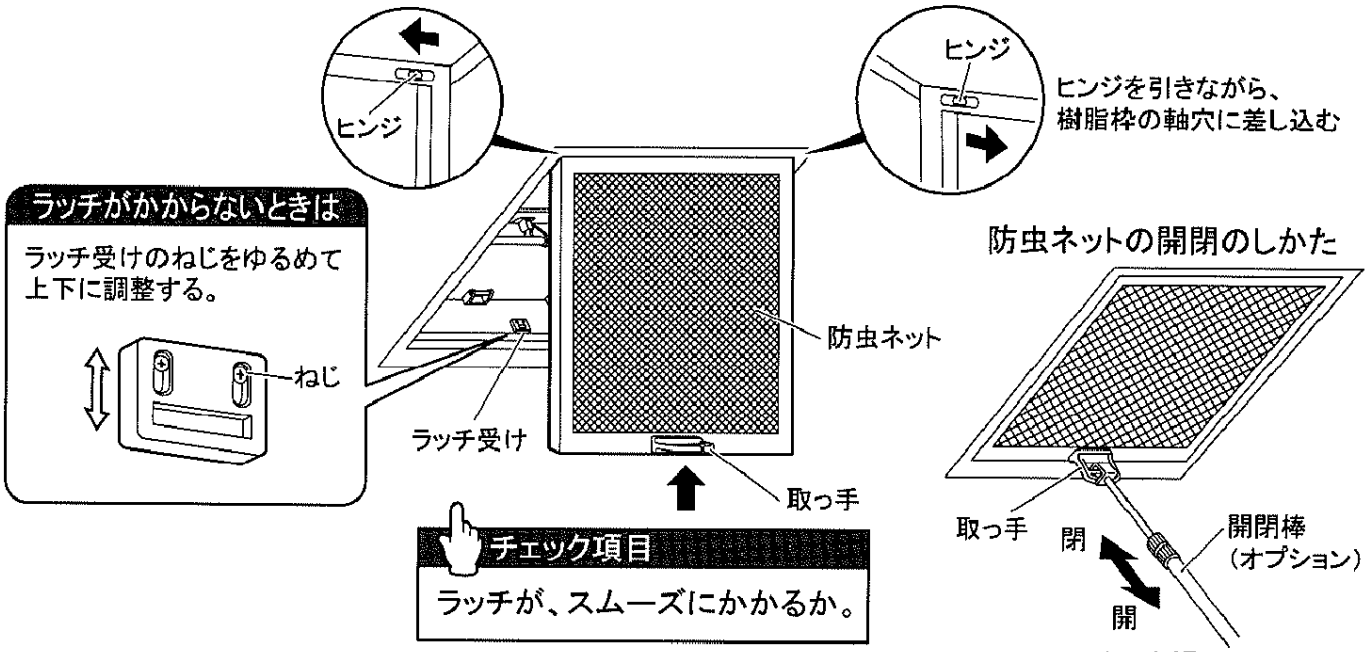
手動タイプ

1.防虫ネットを取付ける・ラッチのかかりを確認する

事前作業

梱包状態では防虫ネットは裏・表逆に取り付けられています。ヒンジをスライドさせ、いったん外してください。

取っ手が室内側になるように取付ける。
ヒンジを引きながら、樹脂枠の軸穴に差し込む。



ラッチがかからないときは

ラッチ受けのねじをゆるめて
上下に調整する。

チェック項目

ラッチが、スムーズにかかるか。

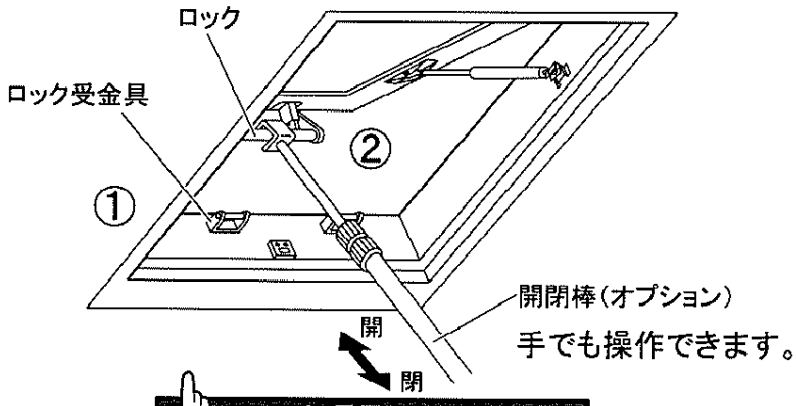
防虫ネットの開閉のしかた

手でも操作できます。

2.開閉動作を確認する・窓のロックのかかりを確認する

事前作業

ロックとロック受金具を止めている結束バンドを切断する。



手でも操作できます。

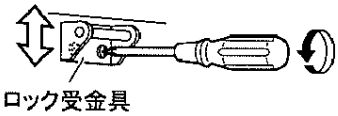
チェック項目

開閉動作が、スムーズか。
ロックが、スムーズにかかるか。

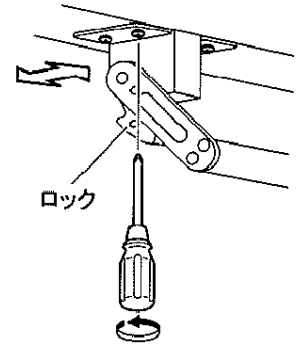
ロックがかからないときは

ねじをゆるめて調整する。

① ロック受金具の調整
(上下調整)



② ロックの調整
(前後調整)



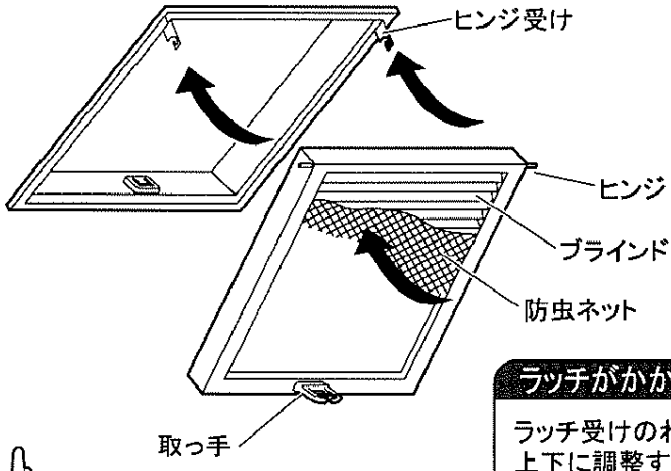
手動ブラインド付

1.ブラインドを取付ける・ラッチのかかりを確認する

事前作業

梱包状態では防虫ネットは裏・表逆に取り付けられています。ヒンジをスライドさせ、いったん外してください。

取っ手が室内側になるように取付ける。
ヒンジをヒンジ受けにかけ、ブラインドを閉める。

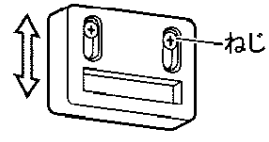


チェック項目

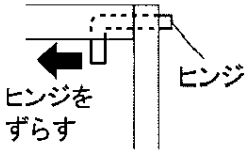
ラッチが、スムーズにかかるか。

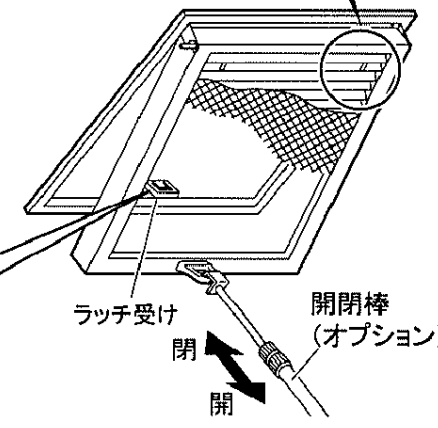
ラッチがかからないときは

ラッチ受けのねじをゆるめて
上下に調整する。



はずし方



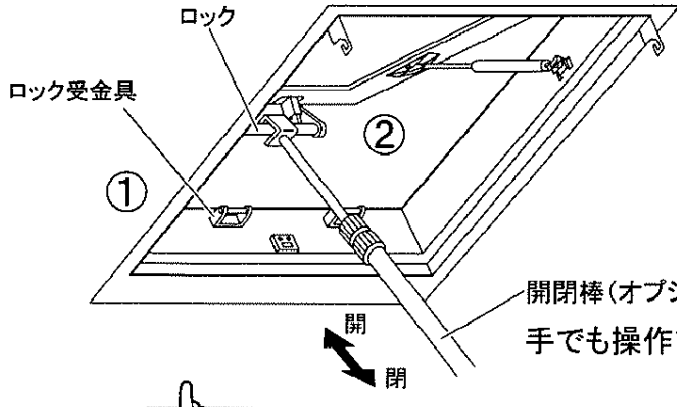


手でも操作できます。

2.開閉動作を確認する・窓のロックのかかりを確認する

事前作業

ロックとロック受金具を止めている結束バンドを切断する。



手でも操作できます。

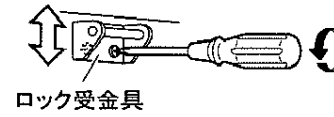
チェック項目

開閉動作が、スムーズか。
ロックが、スムーズにかかるか。

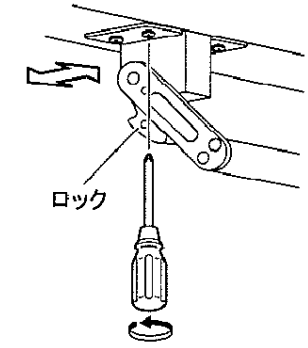
ロックがかからないときは

ねじをゆるめて調整する。

① ロック受金具の調整
(上下調整)



② ロックの調整
(前後調整)



開閉動作確認

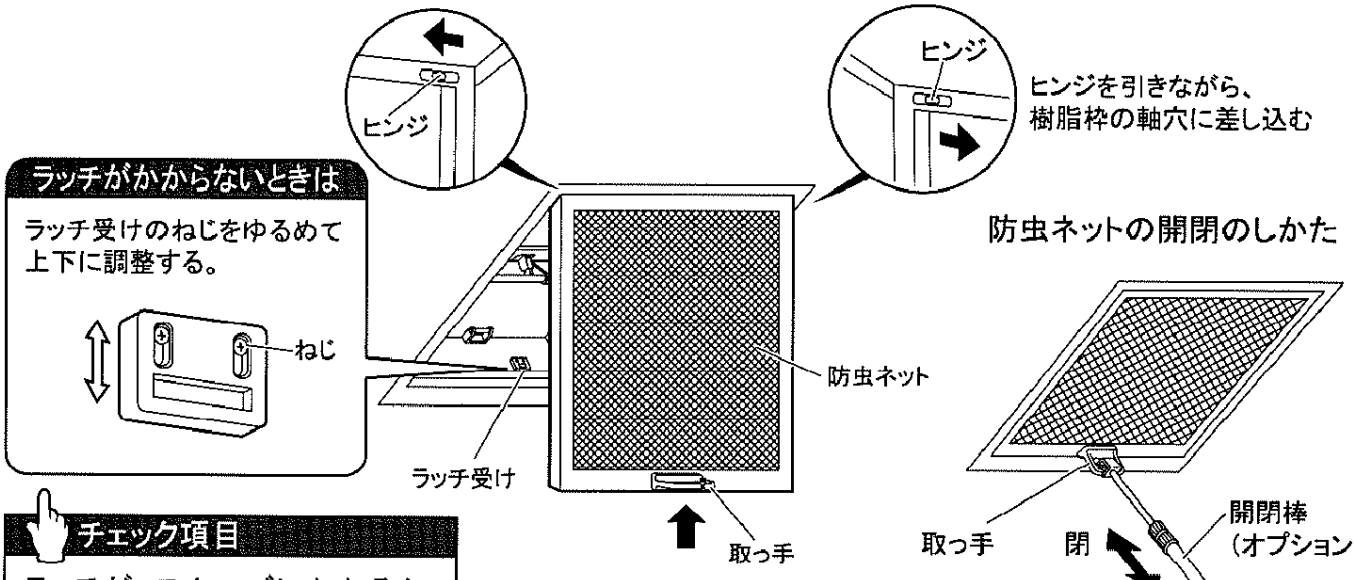
点検口タイプ

1.防虫ネットを取付ける・ラッチのかかりを確認する

事前作業

梱包状態では防虫ネットは裏・表逆に取り付けられています。ヒンジをスライドさせ、いったん外してください。

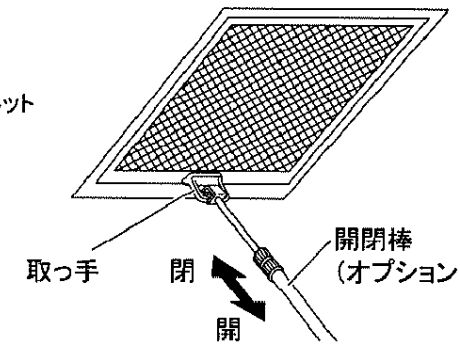
取っ手が室内側になるように取付ける。
ヒンジを引きながら、樹脂枠の軸穴に差し込む。



チェック項目

ラッチが、スムーズにかかるか。

防虫ネットの開閉のしかた

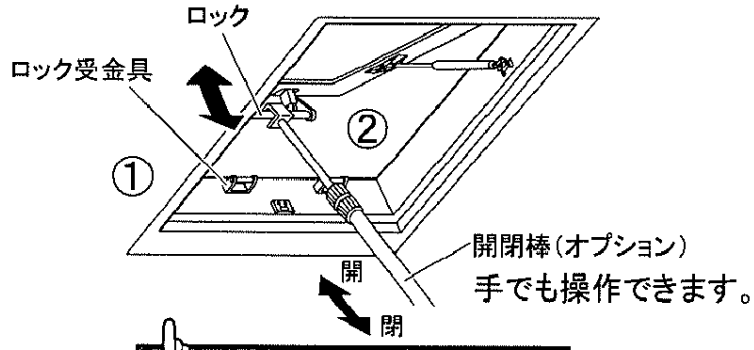


手でも操作できます。

2.開閉動作を確認する・窓のロックのかかりを確認する

事前作業

ロックとロック受金具を止めている結束バンドを切断する。



手でも操作できます。

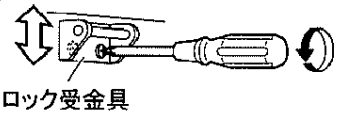
チェック項目

開閉動作が、スムーズか。
ロックが、スムーズにかかるか。

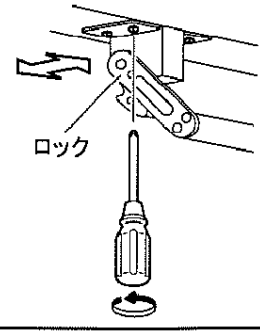
ロックがかからないときは

ねじをゆるめて調整する。

① ロック受金具の調整(上下調整)



② ロックの調整(前後調整)



3.点検時を想定した全開動作を確認する

作業の手順は同梱の「点検口取扱手順書」を参照してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に次の項目を確かめてください。

故障かな！？	調べましょう	やってみましょう
窓のロックがかたい、 または、ロックがかからない	ロック、または受け金具の位置がずれている。	ロック受け金具またはロックの取付け位置を調整する。 (P.8・9・10)
防虫ネットのラッチがかたい、 または、ラッチがかからない	ラッチの位置がずれている。	ラッチ受けの取付け位置を調整する。 (P.8・10)
ブラインドのラッチがかたい、 または、ラッチがかからない	ラッチの位置がずれている。	ラッチ受けの取付け位置を調整する。 (P.9)

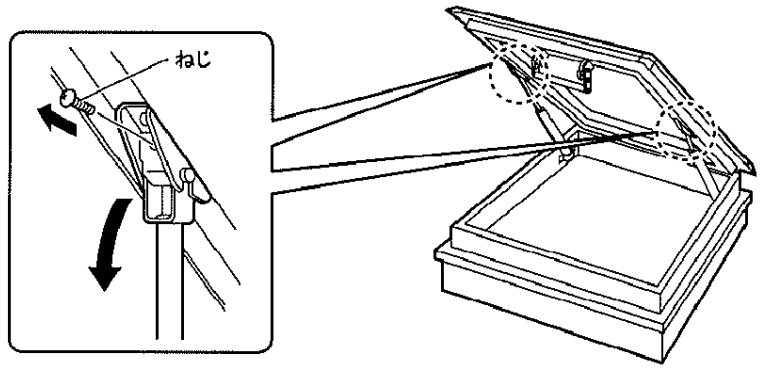
ガラスの交換のしかた

万一割れたときなど

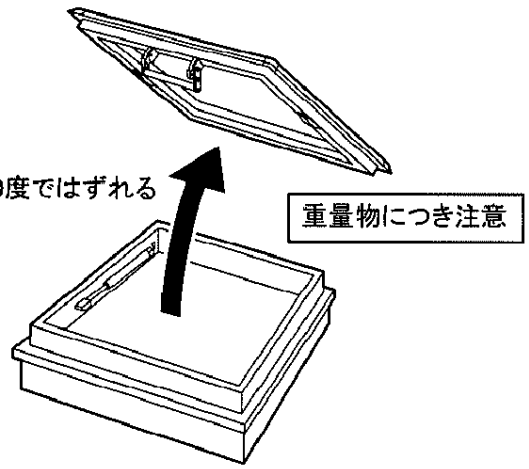
窓部ごと交換が必要です

①ガススプリングのねじをはずす。

ガススプリングのねじをはずす。



②窓部を交換する。手動タイプ 手動ブラインド付

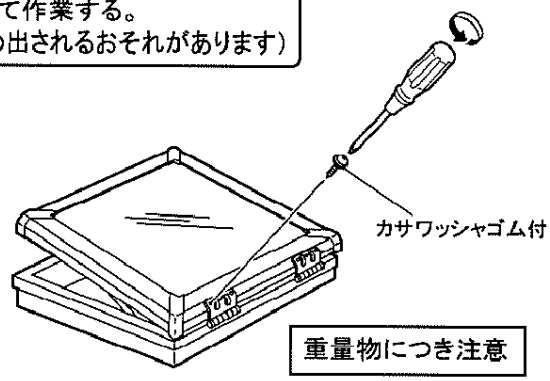


新しい窓部と交換し、逆の順序で組み立てる。

②窓部を交換する。点検口タイプ

窓側の丁番のねじをはずす。

ロックがかからないよう、少し開けて作業する。
(閉め出されるおそれがあります)



新しい窓部と交換し、逆の順序で組み立てる。

- 窓部交換後、開閉動作、ロックのかかりに異常がないか、必ず確認してください。

■窓部品番

タイプ	ガラス仕様	対象本体品番	窓部品番								
			2025	2030	3020	2530	3030	2045	4520	3535	4530
手動タイプ・ブラインド付	網入型板	MWA□□□□J▲	MW91288	MW91289	MW91290	MW91291	MW91292	MW91293	MW91294	MW91295	MW91296
	網入透明	MWA□□□□K▲	MW91300	MW91301	MW91302	MW91303	MW91304	MW91305	MW91306	MW91307	MW91308
	合わせ透明	MWA□□□□G▲	MW91309	MW91310	MW91311	MW91312	MW91313	MW91314	MW91315	MW91316	MW91317
点検口タイプ	網入型板	MWA□□□□JHT	MW91352	MW91353	MW91354						
	網入透明	MWA□□□□KHT	MW91355	MW91356	MW91357						
	合わせ透明	MWA□□□□GHT	MW91358	MW91359	MW91360						

▲…H. H3共通

- 上記以外のサイズおよび仕様については弊社営業所へお問い合わせください。
- ガラスは高断熱複層ガラス(LOW-E膜　アルゴンガス入り)のため市販品は使用できません。必ず弊社へご注文ください。
- 商品の改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

〔〒571-8686〕大阪府門真市大字門真1048 松下電工株式会社 TEL(06)6908-1131(大代表)